

地域からはじめよう! 環境出前講座 を開催しませんか?



「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といったご要望がございましたら、各地域の推進員に出前講座の開催を依頼することができます。楽しい教材に子供たちも大喜び! みなさんも環境講座を開いてみませんか?

無料

主婦向け 家庭でできる省エネ講座

エアコンやテレビ、冷蔵庫など、講座を受けてすぐに実践できる省エネ講座。家計の節約にもなりますよ。

子ども向け 環境学習講座でエコまなぼ

ちょっと難しい省エネも、ゲームを通して楽しく学べます。省エネは子どもたちから率先してする時代へ。

工作編 -大人も子どもも楽しめる- エコバッグづくり

新聞紙を再利用して、エコバッグを作る講座。新聞紙がオシャレなエコバッグに変身します!

その他にも、様々なテーマに対応した講座が実施可能。



▲イベントに出展の様子



▲新聞エコバッグ

<<出前講座開催までの流れ>>

1 出前講座開催の申し込み

センターのホームページ(<http://nccca.jp>)より申込用紙がダウンロードできます。実施予定日の**1か月前**までに申込書をセンターへ提出してください。

2 センターから各推進員へ連絡・日程調整

学習の時間 / 原則午前10時～午後5時までの間90分以内

講師料 / **無料**(講座に必要な材料等を用意していただく場合がございます。)

※曜日、時間等はこちらにご相談ください。なお、諸事情によりご希望に添えない場合がございますが、あらかじめご了承ください。

3 出前講座受付確定・実施

出前講座申込者へセンターから実施確定の連絡があり、当日推進員が伺います。

開催条件

※開催場所は県内に限ります!

※5人以上から開催可能です!



お問い合わせ

長崎県地球温暖化防止活動推進センター

住所: 長崎市元船町17-1 公益財団法人ながさき地域政策研究所 内
TEL: 095-820-4868 FAX: 020-4623-5633 <http://nccca.jp>

Eco naga +

オシャレなあなたは始めてる

プラス



● きらり! 温暖化防止活動推進員さん
親子で受け継ぐエコ活動

● 地域と連携。住民と共にエコ活動
佐々町の取組

● 祝低炭素杯ファイナリスト出場
諫早農業高等学校

● 水と温泉を活かしたまちづくり
島原市の取組

第34号

2017.01

エコnaga+

オシャレなあなたは始めてる

プラス

第34号
2017.1

発行月／平成 29年 1月
編集／長崎県地球温暖化防止活動推進センター
<http://nccca.jp>

発行／長崎県環境政策課
〒850-8570 長崎市江戸町 2-13
TEL／095-895-2512
FAX／095-895-2566

「エコnaga+」とは…

「エコnaga+」は「長崎県地球温暖化防止活動推進センター」が制作している環境冊子です。長崎県環境政策課より発行され、県民の環境への意識を啓発するための内容となっています。環境の最新情報や環境コラム、また県内企業や個人、団体の環境の取り組みなども紹介し、楽しく読める盛りだくさんの内容となっています。発行：4回／年

配布先：各行政機関等（当センターへお尋ねください）

長崎県地球温暖化防止活動推進センターとは…

「地球温暖化防止活動推進センター」は、各都道府県に設置されており、長崎県の当センターもその中のひとつです。地球温暖化防止活動に関する「啓発・広報活動」、「活動支援」、「調査」などを行っており、その一環として、「エコnaga+」で情報を発信しています。

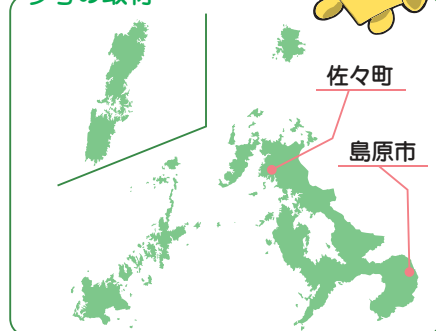
※本誌内では、〈センター〉と表記

長崎県地球温暖化防止活動推進員とは…

「長崎県地球温暖化防止活動推進員」とは、地球温暖化防止のために自ら省エネルギー、省資源に取り組むとともに、地域住民の方々へ温暖化に関する情報の提供と温暖化防止活動の普及を進めてくださる方々です。県から委嘱を受け2年間の任期で推進活動を実施します。

※本誌内では、〈推進員〉と表記

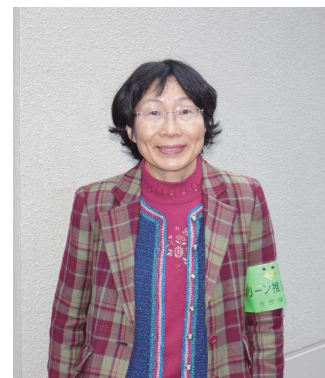
今号の取材



CONTENTS

目次

01. きらり！温暖化防止活動推進員ご紹介
佐世保地区 田川久美子さん
02. 水と温泉を活かしたまちづくり
島原市の取組
04. 地域と連携。住民と共にエコ活動
佐々町の取組
06. 未来のためにいま選ぼう。
まちかどクールチョイス
08. 寒い冬への対策として・・・
冬の省エネ
10. 11月にモロッコで開催された
COP22ってなあに？
12. 県内推進員の活動を紹介
みんなで取組んだ活動
祝！低炭素杯ファイナリスト出場
諫早農業高等学校
13. 長崎県からのお知らせ



佐世保地区推進員

田川久美子さん

節約と健康を考えることは環境のことも考えること。 私でもできる地球温暖化防止活動。

佐世保市江迎町の田川さんは10年前から推進員となり、佐世保地区で活動しています。「自分にできることをコツコツと」という気持ちでこのエコなが通信の配布や市内の環境イベント参加に取り組んでいます。佐世保市のグリーン推進員でもあり、地区のごみステーションの清掃や仕分け、周辺の清掃などを担当しています。お住まいの団地のごみステーションも田川さんの呼びかけで周りの方が協力してくださり、ごみ収集業者の方が回収しやすいよう、綺麗に使用されています。

推進員になったきっかけは田川さんの長女が学生の時に環境のことを勉強して興味を持っていたこと。江迎の町報にたまたま載っていた地球温暖化についての話に興味がありました。当時は、地球規模の問題の解決の方法として省エネや節水などが取り上げられており、あまりにかけ離れていてギャップは感じたものの、常日頃自分がやっている身近なことでも役に立つのであれば、という思いで推進員に応募しました。田川さんのご家庭は夫婦お2人に姉弟5人の7人家族。省エネは常に実践していて、エアコンは使わずお風呂も家族で続けて入るなど工夫をし電気代は月に約3,000円。契約アンペアは20アンペア。更に省エネタイプの冷蔵庫に買い換えたら2,500円程度になったといいます。



田川さんの、いつもの清掃グッズ。清掃にはかせません。

健康にも関心を持っていた田川さんは、部屋と外気の温度差がありすぎると体に害をきたしやすいという話を聞き、夏は暑い、冬は寒いという当たり前のことを受け入れて生活をするようにしています。冬には厚着をしたり家族が続けてお風呂に入ったり、鍋を食べて温まる、お風呂上りは早く就寝する等の工夫をして過ごしているそうです。平成28年度からは娘の誉子さんも推進員となり、職場や近所へ冊子を配ったり、小さなことからできる取組を伝えたりと、親子2代で活動しています。今後は地区での出前講座



の実施や海岸清掃への参加など、他の推進員とも協力しながら様々な活動を継続していきたいと展望を語ってくださいました。

(右)田川久美子さん
(左)田川誉子さん

推進員の活動内容

- 自ら地球温暖化防止に資する行動を実践すること
- 市町や住民などの依頼に基づき、住民に対する普及啓発活動を行うほか、自ら活動計画を企画し、自主的な普及啓発活動を行うこと
- 県内の各種団体等が行う地球温暖化防止に関する活動への協力
- 地球温暖化対策に関する情報、事例、意見を県・市町及び住民へ提供

県からの委嘱を受け、現在71名の推進員が県内各地で推進活動を行っています。



エコまち 紹介



官と民の連携！ 温泉と酒造の エネルギー活用 島原市

古くから「水の都」と呼ばれる島原市では、背景に雲仙普賢岳を控えた温泉が湧き出ています。島原市は、昭和42年より全国でも珍しい集中管理方式の温泉給湯事業を行っており、温泉を市内の宿泊施設や一般家庭に供給しています。しかしながら、源泉温度が約30℃と低く、これまで灯油ボイラーを使って再加熱を行い、市内の配管を使って宿泊施設や家庭に届けていました。観光地として、昔からある温泉を残したいと考えていた島原市ですが、温泉事業の燃料費用は莫大で、市の課題として挙がっていました。

そこで、平成28年度から経産省の補助金を活用してヒートポンプシステムを導入し、省エネ・省資源化を目指す取組が始まりました。今回は、その担当課である観光おもてなし課のみなさんにお話を伺いました。

昭和14年に、豊富な湧水がある島原市に進出した宝酒造株式会社島原工場では、アルコール蒸留後の60℃温水約4,000m³がほとんど利用されないまま、海に排湯されていました。この排湯を宝酒造が無償で提供し、温泉給湯所のヒートポンプの熱源として活用することを考え出し、このシステムが生まれました。

①宝酒造の排湯を源泉の再加熱に利用する。②ヒートポンプシステムを導入することで効率的な再加熱を実施。このようにダブルでエコな取組を導入することで、豊かな水と温泉のある島原ならではの取組を、観光の資源ともしています。観光おもてなし課の田上さんは「取組が実現したのは、宝酒造さんの協力があったこと。宝酒造さんは『お湯は捨てているだけなので、地域のために何かできることがあれば、ぜひ一役担いたい』と申し出て頂き、このシステム構築に至りました」と笑顔で話していました。

温泉が温まるしくみ

ヒートポンプは少ないエネルギーから大きな熱エネルギーを生み出す技術のことです。この島原市の事例では、海に捨てられていたお湯を給湯所へパイプで運び、ヒートポンプで熱だけを取り出します。取り出された熱は、地下から湧き出ている約30℃の温泉水へと効率よく伝えられ、これを複数回繰り返すことで、低かった水温の温泉水は約65℃まで温められ、温泉施設や各家庭へと運ばれるのです。このように、温泉成分は薄められることなく温められ、代わりに高温だった工場排水はより環境に適した温度まで下がり、29℃程度で海に放流されています。



島原市しまばら観光おもてなし課
係長 田上順一さん

市内を巡る温泉の経路



泉源公園の泉源。
約30℃の源泉が湧き出ています。



泉源公園足湯
島原温泉100%掛け流しの足湯。
24時間無料で利用可能です。



島原守護神 しまばらん



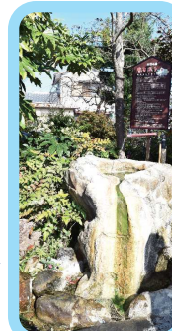
気になる省エネの効果は？

これまで、島原の温泉は灯油ボイラーを使い加温を行っており、燃料代と維持管理費を含めて年間約8千万円の費用がかかっていた。ヒートポンプシステムを導入してからは、年間3千万円以上の削減が期待されています。実証実験の結果として、CO2削減効果は従来の方式と比較して692t、約70%の削減となりました。(※平成28年4月～8月)

ゆとり足湯
こちらも24時間無料で利用可能。島原温泉100%掛け流しの足湯です。
側には有料の温泉施設もあります。



飲泉所
(島原市役所前)



飲泉所(ゆとり足湯向かい側)

市内に7ヶ所存在する飲泉所

「島原の湧水は飲めるんです。適応症として糖尿病・痛風・胃十二指腸潰瘍・逆流性食道炎があります。温泉も美容健康に良い泉質で、クレンジング効果もあり、お肌がつるつるになる美肌の湯として紹介しています。」と話をするのは温泉ソムリエの資格も持つ田上さん。市内には7ヶ所の飲泉所があります。ぜひ島原へお越しの際は飲んだり浸かったりして楽しんでください！

今後は…

これからは3年間の実証実験を経て、一般家庭への温泉給湯料金システムの見直しを行い、温泉がより身近なものとして使えるように工夫していきたい。さらに今後は、余った30℃の廃湯の活用方法を検討中です。これらも工夫の余地があり、期待が寄せられる島原に注目です！



町は佐々川とともに 佐々町

佐々町の春の風物詩でもある「シロウオ漁」や河津桜など、有名な観光名所のある佐々町。町に流れる佐々川は町民にも愛され、環境整備やごみ減量

など、環境美化に関する取組が進んでいます。今回は、そんな佐々町での取組について、佐々町保険環境課の中道係長と、佐々クリーンセンターの前川課長補佐に詳しくお話を伺いました。

町民に親しまれる川づくり

「佐々川をきれいにする会」は、佐々川流域の5つの町と、各町の保健環境連合会、地域婦人会、そして長崎県県北保健所からなる組織で、昭和57年に設立され、現在に至っています。佐世保市や佐々町が協力しながら事務局を務め、市民・町民にも親しみを持ってもらうため、年に1回



フォトコンテストやイラストコンテストの優秀作品は、佐々町役場1階ロビー、長崎県県北保健所、佐世保市役所の本庁、佐々川流域の各支所、佐世保市立図書館、佐世保エコプラザ、佐々町立図書館などで巡回展示をされる予定です。



イラストコンテスト最優秀賞
タイトル：
受賞者：



フォトコンテスト最優秀賞
タイトル：
受賞者：

佐々川・桜の写真

町民と共に取り組むごみ減量化

佐々町には32名の美化推進員がいて、クリーンセンターの分別講習会に参加しています。美化推進員はごみ分別方法やごみの減量化や資源化など、学んだことを地区に持ち帰り、住民へ伝えるという役割を担っています。また、町内の学校の社会科見学、近隣の高校のインターンシップなどを受け入れ、ごみについて知ってもらえるように工夫をしています。他にも、ごみの分別方法を知ってもらうため、町の運動会で「ごみ分別障害物競争」を実施しています。間違う方はあまりいないということで、町民の皆様の意識の高さと、町や美化委員の努力が伺えます。



運動会の写真(依頼中)

ごみ分別等について、皆様に知ってもらうために頑張ります！

これからも佐々町の環境を守るために頑張ります！



佐々庁内の工夫

庁内でも様々な工夫を行っている佐々町。庁舎の室内温度は、冷暖房の温度を夏(7～9月)は28℃、冬(12～2月)は19℃に設定し、管理を実施しています。庁舎の窓ガラスには、平成26、27年度の2年間で、遮光フィルムを設置しました。日射をカットし、室内の温度を一定に保つことによって、冷暖房の電気量の軽減をはかりました。また、今年度中に庁内電灯のLED化を実施します。

ミライの佐々町

佐々川の今後について、「現在の環境を保つことが大目標ですが、川のことや生態について知ってもらうことにも重きを置いて活動をしています」と語る中道さん。他にも、佐々には「佐々川再生の会」や「にここクリーンさざ」など、環境に関する色々な団体があります。「佐々川をきれいにする会」としての清掃活動は行っていますが、いつもきれいな佐々川があるのは他の団体の皆様や川周辺の方が清掃をして下さっているおかげです。これからは清掃活動などにも取り組むなど、他の団体とも横のつながりを持ちながら活動していきたい」との意気込みをお話いただきました。ごみ減量化については、町民の皆様にもっと知っていただき、更に力を入れていきたいとのこと。ますます綺麗になる佐々町の未来にご注目ください！

(右)佐々町保険環境課環境衛生班 係長 中道隆介さん
(左)佐々町保険環境課環境衛生班(佐々クリーンセンター)課長補佐 前川利一さん

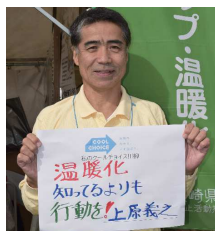


未来のために、いま選ぼう。

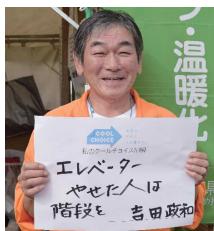
まちかどクールチョイス



マチで見かけた色んな方へ、自分が行っている、又はこれから行いたい「エコな暮らし」について教えていただき、写真とともに掲載するコーナーです。読者の皆様も参考にさせていただき、「これもエコ！」とクールチョイスな生活スタイルを発見してください。



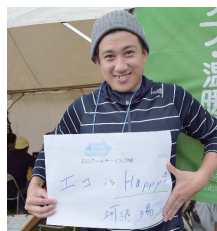
知っているよりも行動を上原義之さん(長崎市)



階段を使いましょう！
吉田政和さん(長崎市)



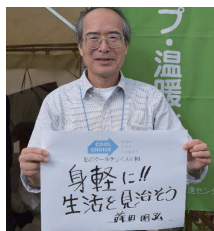
便利より不便を楽しむ
宮里寿さん(長崎市)



エコで幸せ♪
河原陽一さん(長崎市)



賢い選択が地球を救う！
山部知嘉子さん(長崎市)



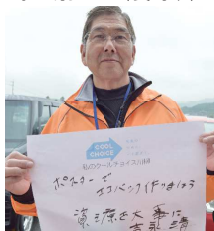
身軽に！生活を見治そう
時田明弘さん(長崎市)



2050年の温暖化はすぐにやってくる
小泉昇さん(長崎市)



資源を大事に
森山静子さん(壱岐市)



資源を大事に
吉永清さん(壱岐市)



私のクールチョイス宣言
官民共同まちづくり。
排湯活用で
クールチョイス
島原市観光おもてなし課

私のクールチョイス宣言
水も大切な資源の1つ
諫早の宝！
県央地区温暖化防止活動推進員



私のクールチョイス宣言
省エネ講座で学んだ事を
実践して、
クールチョイス
家計簿クラブ(長崎市)



私のクールチョイス宣言
公共交通機関利用促進で
クールチョイス
佐世保地区温暖化防止活動推進員





今回は冬の省エネ。ちょっとした工夫で省エネを心掛けながらも温かく過ごすことが出来る方法をご紹介します。

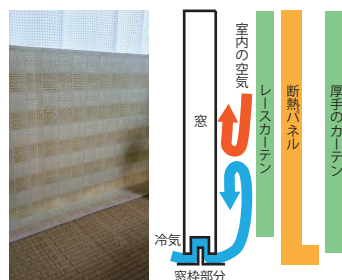
電気を使わずに出来ること

外からの冷気を防ぐ

カーテンは厚手のものまたは断熱性能の高いものに変えて、窓からの熱の出入りを防ぎましょう。また窓にも断熱材・結露防止材を張り付けるとかなり冷気の侵入を防ぐことが出来ます。またカーペットなど敷物の下に断熱材などを敷くのもかなり有効です。室内暖気を逃がさない工夫をしましょう。

室内でも厚着・防寒具を

着るものにも工夫しましょう。例えば厚手のカーディガンを羽織ると、体感温度が2度程度上がると言われています。他にもひざかけ・吸湿発熱素材の下着や湯たんぽなど、昔ながらの道具も有効です。新しい省エネ暖房器具を購入する前に暖かい素材の部屋着を検討されてみてはいかがでしょうか。

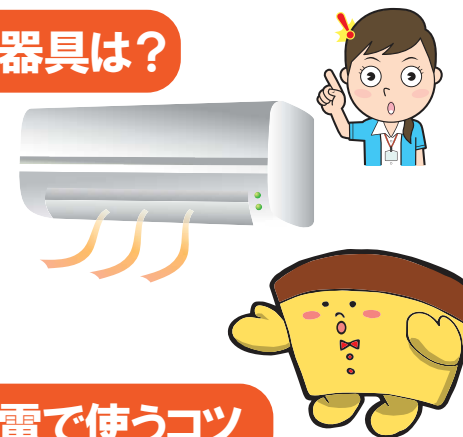


断熱パネル・ボード使用例

窓とカーテンの間に何も遮るものがない場合、窓枠の隙間から冷気が入ってきます。断熱パネルを立てて使うと、部屋の中に入ってくる冷気を遮ることが出来ます。断熱パネルはレースカーテンの内側に設置しても使用できます。ご自宅に合わせてご利用ください。

最も省エネな暖房器具は？

エアコン・オイルヒーター・電気ストーブ・ハロゲンヒーターの中では最も省エネなのは実はエアコン。意外かもしれませんが消費電力は一番低く済みます。最近のものは省エネ機能がついて更に少ない電気で部屋を暖められる様です。



暖房器具を賢く節電で使うコツ

設定温度は 20℃で

暖房時の室温は 20 度を目安にしましょう。室温 20 度で寒いと感じるときは、設定温度を上げる前に厚手の靴下をはくなどして、体温を調節してみましょう。また、風向板は暖房の場合は下向きに。温かい空気は上昇して天井の方にたまるので、冬でもサーキュレーターなどを活用し、空気の循環を行えば十分快適に過ごすことが出来ます。更に 2 週間に 1 度は、フィルターのお掃除をして暖房機の効率をあげてみましょう。



家族みんなで同じ部屋に集まりウォームシェア

冷房の時と同様、なるべく家族で1つの部屋を使い、無駄な電気を使わないようにしましょう。



湯沸かしにも注意

一番多くエネルギーを使っているのは、実は「給湯」だといわれています。給湯も以下の点に気をつけて省エネを心掛けましょう。

- ・お風呂は間隔をあけずに入浴しましょう
- ・洗顔、食器洗いなどでお湯を使用する場合は低温で
- ・流水時は、こまめに止めて節水を



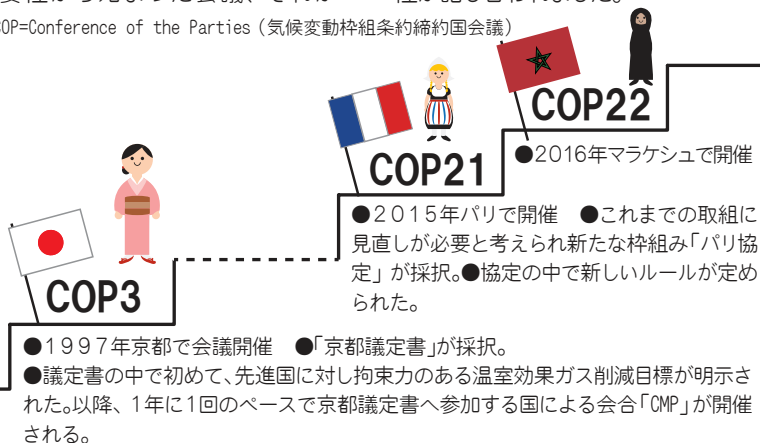


11月7日から 12日間、 モロッコで 開催された COP22って なあに？

私たちの暮らしは 1700 年半ば頃から始まった産業革命以降、より暮らしやすい生活環境になってきました。しかしそれにより、化石燃料使用の増加、温室効果ガス増加、地球温暖化という新たな問題に直面することにもなってきました。その地球温暖化に対し、世界的連携による防止策施行の必要性から始まった会議、それが

※COP=Conference of the Parties (気候変動枠組条約締約国会議)

「COP」です。1994 年 3 月第 1 回ドイツベルリンでの会議から、年 1 回のペースで行われ、2016 年 11 月 7 日～18 日まで 12 日間、モロッコのマラケシュで開催された「COP22」は、22 回目の開催となりました。これまで目標が設定されていなかった国々においても CO₂ 削減目標が設定され、温暖化防止の重要性が話し合われました。



1880～2012 年
において、
世界平均
地上気温

温暖化は
進んでいます
0.85℃
上昇

IPCC 第 5 次評価報告書 (2014) では、このままでは 2100 年の平均気温は、温室効果ガスの排出量が最も多い、最悪のシナリオの場合には最大 4.8℃上昇すると発表しました。

気温上昇を

1.5～2℃以内に抑えなければ

人間の生活環境に、

困難な事象が起こる可能性があります。



COP22の主な中身

今回の会議の中で特に重要視されたのは、1 年前に採択、今年 11 月 4 日に発効された「パリ協定」の内容を、各国がいかにしてそれを実現するかという具体的な取組を決めること。議長国のモロッコは今回の会議を「行動の COP」と呼び、各国はこの 1 年間国内で話し合われた案を持ちより、白熱した討論がくり広げられました。

COP22の成果

今回の大きな成果は、2 つ！

- (1) パリ協定の具体的なルール、作業計画が明確な期限を持って決定。
- (2) パリ協定への参加意思が確認されていない国を含め、全ての国がルール作りに参加できるようにする。

私たちはどうするの？

温暖化を 1.5～2℃以内に抑えるにあたり、何も対策をしないままだと、この目標はクリアされず、世界平均地上気温の変化予測は最悪 **4.8℃** である可能性が高いと言われてしています。これからの数十年でより多くの CO₂ 排出を行えば、その後はより多くの CO₂ 排出削減が必要となります。これを打開するためには、国民ひとりひとりがエネルギーの無駄な使用を抑えなければなりません。省エネや公共交通機関の利用を増やし、私たちも出来ることから始めなければなりません。



COP22 で目標とされる値

国名	CO ₂ 排出の削減目標	比較する年
日本	2030 年度までに 26% 削減	2013 年度比
中国	2030 年までに 60～65% 削減	2005 年比
EU	2030 年までに 40% 削減	1990 年比
インド	2030 年までに 33～35% 削減	2005 年比
ロシア	2030 年までに 70～75% に抑制	1990 年比
アメリカ	2025 年までに 26～28% 削減	2005 年比